

2018 年 12 月 28 日
株式会社かんぽ生命保険

国内株式自家運用における株主議決権行使について

弊社では日本版スチュワードシップ・コードを受け入れ、積極的にスチュワードシップ活動を行っておりますが、国内株式自家運用における議決権行使について 2017 年 3 月～2018 年 11 月に行われたのべ 127 社の株主総会・429 議案において、弊社常任代理人である資産管理サービス信託銀行株式会社が提供するサービスに不備があり議決権が不行使となっていたことが判明しました。

これに伴い、弊社 Web サイトに公表しておりますスチュワードシップ活動報告（2017 年 7 月～2018 年 6 月）について修正させていただきます。

さらに、弊社常任代理人である資産管理サービス信託銀行株式会社に、再発防止の徹底を求めるとともに、弊社においても社内事務フローの見直しやチェック体制の強化等の再発防止を行います。

なお、当該不行使による当該議案の決議結果への影響はなかったことを、公表資料を通じて確認しております。

また、当該議決権が不行使となった投資先の大半（会社提案に対して反対対象となったすべての会社を含む。）とは建設的な対話を実施しております。

本件を契機に、スチュワードシップ活動の重要性を再度強く認識し、これまで以上に積極的にスチュワードシップ活動に取り組むことで、機関投資家としての責任を果たしてまいります。

以上